



あけまして おめでとうございます。

2025年の干支は乙巳(あひま)です。
「努力を重ね物事を安定させていく」という
意味合いを持つ年とされています。

七草粥とは

1月7日の朝に食べるもので、正月
飾りを飾っておく「松の間」期間の最
終日であり正月最後の日とも言えます。

1年間の無病息災を願い、正月料理やお酒で
弱った胃腸を野草で回復させるという意味があります。

芹(せり) 冷え予防、胃肝臓機能の正常化、血液中の老廃物やコレステロールを排出
(なすな) 肝臓病、解熱下痢、便秘、高血圧、生理不順、胸肺、利尿など
(ごぎょう) 咳止め、内臓の回復
効果があるそうです

(はこばら) 利尿作用、鎮痛作用、腹痛の回復

(はの皮) 整腸作用、健胃作用、高血圧予防

(すずな) 腹痛予防、風邪予防

(すずしろ) 血栓防止作用、解毒作用、消化不良の解消

このような効果があり胃腸回復に直したものは、最近では、
スーパーでも七草七十が売られています。



令和7年も
よろしくおねがい
いたします!

年末年始の変更は毎年非常に多くなります。

12月25日までにご連絡いただけますよう御協
力をお願いいたします。

1/1、1/2、1/3 電話受付 18:00 までまでと
させていただきます。

【年末年始も営業しています!!
お申し出がなければいつも通り
配達いたします!!】

お正月も年中無休で配達しておりますが、

他社様が休んでいる期間のみの申込はお断りさせていただきます。

12月29日~1月3日の期間は配達がパンクしてし

まいますので固定の曜日以外の追加は受けられません。

(週5回以上ご利用の方はご相談ください)

七福神とは古くから日本で親しまれている7柱の神様の総称です。なお神様の数は、一人二人とは言わず、柱二柱といった「柱(はしら)」で数えます。

七福神の由来は諸説ありますが、七という数字は「七つの災難が消え、七つの福が生まれる」を意味する仏教経典「仁王経」の中の「七難即滅、七福即生」という言葉が元になっているとする説が有力なようです。七福神信仰は室町時代末期ごろから始まったとされ、主に農民漁民などの庶民に親しまれ、江戸時代ごろに現在の形になったと伝えられています。

「恵比寿様」
日本由来の神様として知られる七福神のひとりです。「えびす願」という言葉があるように笑顔が特徴的な神様で、大漁や商売繁盛が主なご利益です。

五穀豊稔・商売繁盛・開運などお金と出世の神様「大黒天」、武運を高める「毘沙門天」、仏教世界を守護する四天王のリーダー格として知られ別名「多聞天」とも呼ばれ主に財宝・武運の神様として信仰され他に厄除けのご利益や10種の福が得られるとも言われています。



弁財天は水と芸術・学問を司る女神「サラスワティ」がモデルとされ才能と財産を兼ね備えていることから「弁才天」「弁財天」の2つの表記が使用されます。

音楽芸能・学問成就・財星美人祈願などのご利益があると信じられ七福神の中で唯一の女神で美しい天女の姿で琵琶を持っているのが特徴です。

福々しい笑顔の「布袋尊」、笑門来福、夫婦円満などのご利益があるとされ、太鼓腹で大きな袋を持った僧侶の姿で担いでいる袋は堪忍袋と言われ、我慢の限界を表わす「堪忍袋の緒が切れる」という言葉の由来となっているようです。

三種の福を授ける「福禄寿」、福星・禄星・寿星の三星を神格化した三位一体の神様とする説もあり、名前の漢字が「福=幸福」「禄=身分」「寿=寿命」を表し、子孫繁栄・健康長寿などのご利益、長寿の神様「寿老人」は延命長寿と諸病平癒などのご利益があるとされています。

		化	製	
	元	気		行
前			寛	方
絶		動		正
後	続			革

空いたところ□に漢字を入れて熟語を完成させて下さい